

相馬
ゆうこの

南千住レポート



まちづくり、
くらしの情報
を届けます

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎:3802-4627
FAX: 3806-9246 / ✉:arajcp@tcn-catv.ne.jp
相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階
☎・FAX:3807-4192



GO VOTE

・HP→
・X(旧ツイッター) @m1010_yuko
・araken-nan.jugem.jp

プラごみの回収・資源化～来年10月から実施

区内全域でのプラスチックごみ分別回収が、来年10月から始まります。年々深刻な猛暑や豪雨被害など気候危機対策に、身近なCO₂削減が必要です。また、マイクロプラスチックの海洋汚染や人体への影響も懸念されています。



「プラごみの日」回収は週に1回、可燃ごみと分けるため「プラスチックを新たに設定 回収するものは…」

★ 来年10月から「プラごみの日」を新設

★ 回収するものは…

プラマーク 付き 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗剤などの容器 ・お菓子や食品の袋 ・弁当などの容器 など
プラマークは ないが、 プラスチック のみで できている	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンガー ・おもちゃ ・発泡スチロール など

回収するプラスチックは、卵パックや弁当等の容器、飲食品の袋やラベルなど「プラマークが付いているもの」と、ハンガーやおもちゃなど「プラマークはないがプラスチックのみで出来ているもの」。食品の容器は汚れていても洗えば回収可能です。詳細は今後開かれる住民説明会や、区ホームページでお知らせします。不明な点、心配事などありましたらご相談ください。



モデル事業を実施中 区内全域での実施に先立ち、2022年3月から町屋地域の一部(約1,200世帯)で分別回収・資源化のモデル事業を開始。昨年10月には地域を拡大し、現在約7,100世帯で実施中です。

どのくらい回収できた？

対象地域拡大後の半年間では約36トンのプラスチックを回収、1人あたり年間に換算すると5.7kgです。



一方、回収したごみの約17%がプラスチック以外の可燃ごみ等で、リチウムイオン電池が入ったままの小型家電など危険なもの

お惣菜を買うことが多いのですが、お店側も紙製のトレイを使うなど意識することが必要では

食品の容器や包装などは、どの程度洗えばいいかが分かりにくい

も。「分別方法が分かりにくい」との意見も多く、誰にでも分かりやすい周知と、あわせてリチウムイオン電池の回収拠点をふやすなどの対策も必要です。



こんな意見
あります

回収後はどのように再活用されるの？

現在、区ではペットボトルと発泡スチロールトレイ以外のプラスチックは「燃えるごみ」として回収、サーマルリサイクル（熱回収）を実施しています。日本では廃プラ

スチックの約62%がサーマルリサイクルで処理されていますが、燃焼時のCO₂排出が問題となり、国も「プラスチック資源化を促進する法律」を制定。分別回収後は、荒川区もサーマルリサイクルで



はなく製品原料などへの資源化を実施します。

リサイクル方法別のCO₂削減効果

低	サーマルリサイクル（排熱利用）	1kgあたり0.73kg
	マテリアルリサイクル（製品原料化）	1kgあたり1.65kg
	ケミカルリサイクル（化学反応で分解）	1kgあたり2.11kg
高	RPF（固形燃料化）	1kgあたり2.97kg

資源化はサーマルリサイクルよりもC

O₂削減効果が高く、区は「全域実施後のCO₂削減効果は年間約2,400トン」と想定。

「実際に分別してみると燃えるごみの大半がプラごみでびっくり」、でも回収が週1回なので「かさばるため保管場所がない」との声も。慣れないうちは面倒、保管場所などの課題もありますが、みなさんの理解も得ながら分別・資源化をすすめたい。

23区の状況はどうなってる？

23区では、すでに12区が全域で実施、荒川を含めた5区がモデル実施中で、6

区は未定とのこと。回収・資源化にかかる費用負担と作業人員の不足で、人口が多く面積も広い区はなかなか実施に踏み出せないようです。

★23区の実施状況は…

本格実施 12区	港、千代田、渋谷、北、目黒、豊島、江東、墨田、新宿、品川、中野、板橋
モデル実施 5区	荒川、足立、台東、文京、大田
未定 6区	中央、世田谷、杉並、練馬、葛飾、江戸川

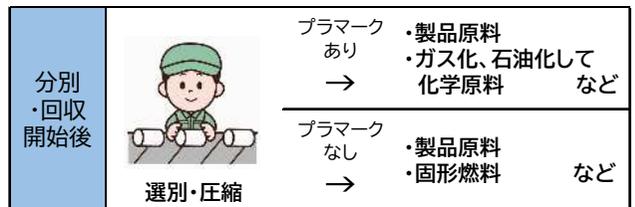
CO₂削減に 区の回収・資源化の経費は年間

生産者責任こそ 約5.7億円ですが、都の補助金は2026年度まで、国からは直接の補助金はなし。国・都の対策とプラスチックごみ抑制の生産者責任が求められます。いま、深



刻な海洋汚染やCO₂削減など気候危機対策は待ったなし。プラに頼らない生活へ、大量生産、大量廃棄から抜け出す区、事業者、区民の協力が必要です。

★回収後のリサイクル方法はどうか変わる？



〈法律・生活相談〉

11月の定例法律相談日は 14日(木)です

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での定例法律相談は、毎月第2木曜18時から。平日の午後15時に法律事務所（北千住）でも可能です。お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192

考えたい 西日暮里駅前再開発の事業費が3割増に

区も参加する西日暮里駅前再開発の準備組合は、本組合設立に必要な2/3以上の同意を得られたとして、東京都に組合設立の認可申請書を提出。15日(火)~28日(月)まで本組合設立に向けた事業計画の縦覧を実施、組合員などの意見募集を行っています。

縦覧終了後に都の審査を経て、権利変換、土地・建物の明渡しが行われ、2027年度に工事着手、2030年度の竣工を予定。

総事業費は1342億円に

総事業費は、工事費高騰などにより当初の約1000億円から342億円(+34%)



西日暮里の完成予想図

増の1342億円に膨れ上がりました。国などの補助金も当初の240億円から約440億円に、200億円(+83%)増です。昨年6月時点では総事業費1172億円・補助金は355億円との想定でしたが、短期間に事業費170億円・補助金80億円ふえ、さらに増加の可能性もあります。

※西日暮里駅前再開発計画(2.3%)

北千住ルミネ並みの商業施設と1,000戸(47階建て)のタワーマンション、区の文化交流施設と民間コンベンションホールを予定。参加事業者は東急不動産。総事業費は当初1172億円で、国の補助は355億円の見込み。開発用地は高齢者施設、保育園、学校跡地など区有地が大半を占めており、開発のあり方や区民の合意が問われています。



中野区サンプラザ 中野区では、再開発を予定していた中野サンプラザが工事費高騰で計画取り消しに。タワーマンションや多目的ホールなどを建設予定で、当初1810億円だった工事費が倍近くまで上がり、野村不動産など事業者が都へ認可申請取り消しの手続きを行ったそうで、中野区は計画の再検討を求められています。



区民の暮らしとまちづくり優先に 超低金利政策の投資資金や再開発への国の補助金が不動産バブルを加速させています。再開発への補助金は、区民・国民の税金です。高騰しつづけるタワーマンション再開発に税金をつぎ込んでいいのか、荒川区のまちづくりと区民の暮らしを大切にして、今からでも再検討すべきです。



セブンイレブン閉店から3か月…

南千住5丁目のセブンイレブンが7月に閉店してから3か月、いまだ空き店舗のまま。無くなって不便という方も多いのでは。町屋でもセブンが閉店、フランチャイズでオーナーも大変なようです。



の秋です。拾ったさくらの葉を、かごにいっぱい入れて、ぜんぶ夕入公園で、さくらの葉を、かごにいっぱい

ちいさい秋みつけた

選挙に行こう！衆議院選挙は27日投票

15日(火)から衆議院議員の解散選挙がはじまりました。27日(日)

投票日、期日前投票も区役所で実施中、駅前ふれあい館、スポーツセンターも20日(日)から投票可能です。お騒がせですが、みなさんのご協力よろしくお願いします。



小選挙区の新たな区割り

東京都の小選挙区はこれまでの25選挙区→30選挙区に5選挙区ふえ、定員も5増。荒川区はこれまでの14区(荒川、台東、墨田)から29区(荒川、足立西部)に変更されています。

最高裁判事の国民審査があります

衆議院選挙と同時に、最高裁判事(裁判官)の「国民審査」が行われます。朝ドラ「虎に翼」の中で、穂高先生が務めていた最高裁の裁判官。国民審査では、憲法79条に基づいて最高裁判事が職責にふさわしい人物かどうかを有権者が審査します。今回は15名中6名が対象で、辞めさせたい人には×印を記入、×が有効投票の半数を超えると罷免されます。

主な裁判の各裁判官の判断など、ご参考まで。裁判官に任命されたばかりという方もいて、判断が難しい。それでも、有権者が司法のあり方について、投票という手段で意思を直接表明する貴重な機会です。ぜひ投票を。



	結論	尾島 明	今崎 幸彦	宮川 美津子	石兼 公博	平木 正洋	中村 慎
2022年参院選の「1票の格差」は	合憲	違憲状態	合憲				
旧優生保護法は憲法違反か	違憲	違憲	違憲	違憲	違憲	今年8月就任	今年9月就任
年金段階引き下げの法律改定は	合憲	合憲 補足意見あり					
性同一性障害の人が性別変更するための手術要件は	違憲	違憲	違憲				
犯罪被害者遺族の給付金 同性パートナーは事実婚に該当するか	該当する		結論に反対				

11月10日は区長・区議補選も

衆議院選挙の翌週は、11月3日告示・10日投票で区長選挙があります。区民の暮らし支援とさくらバスの運行継続などが問われます。また、区議会議員1名が衆議院に立候補したため欠員が発生し、区議会議員補欠選挙も同時に行われます。



ご意見・ご質問頂きました ○「小学生の習い事ができる場所が少ない」「30~40代のがんばって働いている世代に対する恩恵が弱くて悲しい。納めた税金を還元してほしい。」「税金が高く、高校・大学の負担が高すぎ」「猛暑で夕入さくらがなくなったら買物にも行けない、高齢者の生活に配慮がなすすぎます。誰のために何のために予算を使うのか、しっかりみてほしい。」「視覚障害の方が道は広くて整備されているが、杖で触れる印がなく、歩きづらい町だと言っていた。」などなど区民アンケートに頂いた声を調査もして、区政に生かし、取組みの指針にしていきたい。

